

令和3年度の事業報告書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

## 1 事業の成果

ユニバーサル就労の推進に関わる事業では、社会福祉法人生活クラブから委託をされたユニバーサル就労の支援窓口を担い、支援を行っていたがユニバーサル就労や障害者雇用においての仕組みに課題があり、社会福祉法人での検討が必要との判断から、再度生活クラブ内にユニバーサル就労推進課を設置し、当法人の事務局長が兼務することとなった。

また、ユニバーサル就労の高度化を図るべく、大学の研究者と評価指標づくりのプロジェクトに参画し、客観的な評価指標を実践者と研究者が協働で作り上げる活動に着手した。本プロジェクトはふくす年度で進め、また全国の実践者を巻き込みながら横の繋がりを構築しながら構築するという趣旨もあるため、まさに当法人が目標としていたユニバーサル就労を柱としたネットワークを作り上げるきっかけとなる。

またひきこもり相談事業では、千葉市ひきこもり地域支援センター、浦安市のひきこもり相談事業では新規相談者は213名の相談を実施し、相談件数は1405件となった。令和3年度も引き続きコロナウイルスの影響を受け、対面での面談が昨年度に比べ減少したものの、電話相談が増加し、相談ニーズは変わらなかった。現在、コロナウイルスの影響も徐々に社会的影響が薄まってきつつあり、コロナ前の状況に戻りつつあるものの、心理的に影響を受けたひきこもり状態にある方の対応については、引き続き他機関と連携しながら支援を行いたい。また、千葉市子ども・若者総合相談センターLink の運営も実施し、新規相談者が140件、相談件数が1249件となった。新規数は微減したものの、相談件数は増加しており、子どもや若者の相談ニーズはコロナ禍において高まったとも言える。

また、会員団体を支援する事業については、生活困窮者自立支援制度における就労準備支援事業で実施している短期就労体験受入サポートやユニバーサル就労の受入を行っている会員団体の支援を実施した。令和3度は昨年度同様に、コロナウイルスの影響で、就労体験や企業開拓の動きが鈍化したままの状況であった。事業所としても自社の経営に集中せざるを得ない状況にあり、外部の受け入れを制限する対応となったことは想像にかたくない。今後もこのような状況はしばらく継続されると思われ、当事者への影響は非常に大きい。

ユニバーサル就労に関する研究および広報・啓発に関わる事業は、ほとんど実施ができなかった。前述した原因と同様に感染症の影響で研修や講演自体が大きく減少した。

その他、目的を達成するために必要な事業として、生活困窮者自立支援事業における自立相談支援事業を千葉市花見川区、就労準備支援事業を千葉市全域で実施した。これらの事業についても感染症の影響が大きく、直接的な影響を受け窓口が混雑し、職員全体が疲弊した1年であった。

全体を通して、感染症の影響が非常に強く、思うように事業推進ができない面もあったものの、法人全体としてはコロナの影響を受けながらも、生活困窮者自立支援制度の制度改革議論への参加や岸田総理への車座集会の参加等、中間的就労のニーズの高まりやユニバーサル就労の高度化に向けて着実に一步を踏み出せた1年でもあった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) ユニバーサル就労の推進に関する事業	仕事に関わる総合相談を実施。ユニバーサル就労のみならず、一般就労、福祉就労などを視野にいれた総合相談を実施した。10月からは生活クラブ内部にユニバーサル就労推進課を設置し、委託事業を終了した。	通年	法人事務所	4名	ユニバーサル新規就労希望者27名への対応をした。
	千葉市ひきこもり地域支援センターの運営を行った。	通年	千葉市	7名	ひきこもり状態にある本人及び家族196名、1380件の相談支援を行った。
	千葉市子ども・若者総合相談センターLink の運営を行った。	通年	千葉市	4名	不登校や家族関係等に悩む本人や家族から140名、1249件の相談支援を行った。
(2) 会員団体を支援する事業	ユニバーサル就労及び認定就労訓練事業を検討する会員団体を対象に立ち上げ支援を実施	通年	会員団体事業所	5名	・ユニバーサル就労や短期就労体験の受け入れを承諾した事業所数10ヶ所
	会員団体内においてユニバーサル就労で働く人たちへの継続支援を実施した。	通年	会員団体事業所	5名	会員団体内においてユニバーサル就労で働く人13名への継続支援を行った。

(3)ユニバーサル就労に関する研究および広報・啓発に関する事業	行政や就労支援団体等から依頼を受けて各種委員会活動に携わった。	通年	各地 (zoom)	2名	千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク、厚生労働省制度改正のための論点整理のためのワーキンググループ等への参加
	ユニバーサル就労を軸とした就労支援、ひきこもり相談支援に関する講演活動を実施した。	依頼があれば 都度実施	全国	3名	zoomでの研修活動を中心に10件研修講師活動を行った。
	ユニバーサル就労のプログラム評価策定のための研究を行った。初年度はインパクト理論、プロセス理論等の検討を行った。	通年	全国	2名	全国のユニバーサル就労実践者、研究者とともにワークショップを2回開催し、意見交換を行った。
(4)ユニバーサル就労に関する職業紹介事業	会員企業や就労体験受け入れ企業で直接雇用を希望すれば、採用に向けてサポートを行った。	通年	千葉県	5名	42名がユニバーサル就労や福祉就労、アルバイト等での就労を決定した。
(5)その他	生活困窮者自立支援事業の委託事業①自立相談支援機関の受託	通年	千葉市	7名	新規762名に対して、2556件の相談支援を実施した。
	生活困窮者自立支援事業の委託事業②就労準備支援事業の受託	通年	千葉市	6名	新規83名に対して、1225件の相談支援を実施、就労体験やグループワーク等を実施した。

	チャンス創造ファンドの実施	通年	千葉県	2名	6件の申請に対して、87,863円の給付を行った。
--	---------------	----	-----	----	---------------------------

(2) その他の事業(定款に「その他の事業」として定めている場合のみ)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者的人数	受益対象者の範囲及び人数
(5) その他、目的を達成するために必要な事業(生活困窮者自立支援制度に関するもの)	千葉市において就労準備支援事業を受託し、相談支援活動を行った。	通年	千葉市中央区、稲毛区の自立支援機関、法人事務所等	6名	生活困窮状態の方35名の相談を受けた。
	浦安市の生活困窮者自立支援制度のその他事業でひきこもり相談窓口を週2日受託。相談支援を行った。	通年	浦安市	2名	ひきこもり状態にある本人及び家族36名の支援を行った。また地域で講演会を企画開催し、97名が参加した。
	就労準備支援事業で活用する交通費給付目的の基金の寄付集めと給付を実施した。	通年	千葉市・松戸市	2名	約90万円の寄付をもとに17件の給付(総額約22万円)を実施した。
	千葉市花見川区で自立相談支援機関(千葉市生活自立・仕事相談センター花見川)の事業を受託し、運営を行った。	通年	千葉市	4名	令和2年9月より796名、相談件数1409件の相談支援を行った。

	経済的事情により支援を受けられない人に対し、交通費等の給付を行うチヤンス想像ファンドの運用を行った。	通年	千葉市	3名	年間で合計145, 243円の給付を行った。寄付額は242, 663円となつた。
--	--	----	-----	----	--

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

科 目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費	1,160,000		
正会員受取会費	14,000		
賛助会員受取会費			
2. 受取寄附金	40,585		
受取寄附金	40,585		
3. 受取助成金等	6,370,480		
受取民間助成金	95,278,354		
受取公的助成金			
4. 事業収益	101,648,834		
5. その他収益	201		
受取利息	657,458		
雑収益	657,659		
総収益計			103,521,078
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	62,673,479		
給料手当	9,496,947		
法定福利費	3,648,845		
通勤費	2,600,317		
福利厚生費	78,419,588		
(2)その他経費	170,318		
業務委託費	305,618		
謝金	401,928		
印刷製本費	16,624		
会議費	777,591		
旅費交通費	68,014		
就労支援交通費	1,689,496		
車両費	1,527,918		
通信運搬費	785,721		
消耗品費	489,136		
水道光熱費	1,828,468		
地代家賃	16,465		
賃借料	1,249,698		
減価償却費	191,040		
保険料	72,550		
諸会費	52,200		
租税公課	93,732		
研修費	97,062		
支払手数料	185,557		
広報費	861,511		
リース料	17,500		
修繕費			
その他経費計	10,898,147		
事業費計		89,317,735	
2. 管理費			
(1)人件費	2,512,392		
給料手当	571,436		
法定福利費	166,853		
通勤費	210,263		
福利厚生費	3,460,944		
(2)その他経費	2,897		
会議費	1,400		
交際費	33,335		
旅費交通費	91,908		
通信運搬費	41,685		
消耗品費	511,552		
地代家賃	39,804		
リース料	146,924		
減価償却費	232,531		
保険料	61,375		
諸会費	2,600		
租税公課	633,822		
支払手数料			
その他経費計	1,799,833		
管理費計		5,260,777	
経常費用計			94,578,512
当期経常増減額			8,942,566
税引前当期正味財産増減額			8,942,566
法人税、住民税及び事業税			432,530
前期繰越正味財産額			13,695,497
次期繰越正味財産額			22,205,533

上記は活動計算書に相違ない。

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワーク  
理事長 池田



令和3年度 貸借対照表

令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	32,492,942	
未収入金	8,075,619	
流動資産合計		40,568,561
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
附属設備	216,888	
工具器具備品	773,867	
一括償却資産	1,227,887	
有形固定資産計	2,218,642	
(2)無形固定資産		
(3)投資その他の資産		
敷金	8,000	
投資その他の資産計	8,000	
固定資産合計		2,226,642
資産合計		42,795,203
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	16,013,170	
未払法人税等	432,500	
未払消費税等	4,144,000	
流動負債合計		20,589,670
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		20,589,670
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	13,695,497	
当期正味財産増減額	8,510,036	
正味財産合計		22,205,533
負債及び正味財産合計		42,795,203

上記は貸借対照表に相違ない。

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワーク  
理事長 池田



令和2年度 財産目録  
令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

(単位:円)

科 目	金 額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	
小口現金	57,633
ゆうちょ銀行ファンド	1,376,351
普通預金(稻毛)	22,266,547
普通預金(花見川自立)	8,515,641
普通預金(GMO)	276,770
未収入金	
千葉市	7,766,922
浦安市	232,697
ユニバーサル就労支援センターちば	76,000
流動資産合計	<b>40,568,561</b>
2. 固定資産	
(1)有形固定資産	
附属設備	
パーテーション	163,696
電話・LAN回線工事及び電源工事	53,192
工具器具備品	
パソコン	773,867
一括償却資産	
パソコン	1,227,887
(2)無形固定資産	
(3)投資その他の資産	
敷金	
駐車場敷金	8,000
固定資産合計	<b>2,226,642</b>
資産合計	<b>42,795,203</b>
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	
人件費	13,649,418
その他諸経費等	2,363,752
未払法人税等	
令和3年度法人税	432,500
未払消費税等	
令和3年度消費税	4,144,000
流動負債合計	<b>20,589,670</b>
2. 固定負債	
固定負債合計	<b>0</b>
負債合計	<b>20,589,670</b>
正味財産	<b>22,205,533</b>

上記は財産目録に相違ない。

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

理事長 池田

